

お西さん

2012
平成24年
9-10

SINIBETSUIN
新生事業
推進計画



連載

ふるまひ
旧を学びて
新を往く

あたらしき

第18回



写真提供…函館市中央図書館



特別寄稿

堀川 乗経 (全4回の2)

寄稿者

堀川 洋司さん

堀川 乗経師 曾孫

乗経師ですが、京都の本山の命を受けた後、まず江戸に向いて築地御坊（現在の築地本願寺）輪番と当時の寺社奉行「本多中務大補」に蝦夷地での本願寺派寺院の創立をお願いいたします。そして安政4年（1857年）5月、幕府よりヲタルナイ（現在の小樽）に願乗寺出張所設立の出願許可があります。許可を得てから乗経師が上京。認可のことや、その他、将来設置の方法、順序などの説明を受けたのち、小樽に地所を拝借して一字を建設し、開教に従事しました。さらに同年9月には箱館と上磯郡濁川村（現在の北斗市清水川）に「願乗寺休泊所」の設立許可が出ました。

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

ホームページアドレス <http://hongwanji-h.h-tk.jp>

新しく更新いたしました。新生事業、別院行事など配信しています。

月忌参りお休みのお知らせ

10月12日(金)~17日(水) [報恩講のため]





函館の地は日に日に繁栄をたどり、ますます布教の必要なところとなりました。小樽出張所に留守居役を置いて、乗経師は函館に戻り大町の豪商、國領平七、他数名の有志にはかり、地藏町官庫の側に寺地1万坪を借地にして一字を建設いたします。後に万延元年(1860年)3月29日、この箱館の願乗寺休泊所は北海道内で最初の「本願寺掛所」となりました。これが現在の函館別院となつていくわけです。

濁川村は、木毛白砂の荒野で周囲は藪然として殆ど人跡まれなる土地でした。本願寺20代ご門主の広如上人は、本派の布教と拓殖のために加賀、能登、越前、但馬、四国の門信徒にはかり、農民300人を移住させて、休泊所に寝泊まりし、50万坪を貸下し数十棟の耕作小屋を造営しました。開墾に於ける「団体移住」のはじまりだと思えます。しかし季候不明、耕作上の不便などで農夫は離散し、濁川村に留まる者は70余名ほどになったそうです。現在の清水川の農家の方はその子孫ではないかと思わ

れます。この休泊所「宣法庵」は農民の心の支えになり、後に移転し江差別院となりました。

前出の小樽と函館、濁川村(宣法庵、後に江差へ移転)などに願乗寺の休泊所が建てられました。札幌は土地を確保しただけで現在の札幌別院とは別の土地です。現在のススキノにある「ニッカウキスキー」の広告があるところから200mほど離れた場所(現在の東急インホテル)だったと聞いています。

乗経師は江差へ出向いていました。しかし、濁川村から移設された宣法庵で体調を崩し休憩、そのままご往生されたといわれています。明治11年6月25日でした。いまにして思えば、いわゆる「心筋梗塞」と断定できません。実は私も心筋梗塞の前兆があります。乗経師の遺伝子が確実に受け継がれているようです。

次号では願乗寺について、もう少し詳しく説明させていただきます。



新本堂 上棟式

9月8日(土)

- ◆儀式……午前11時より
- ◆内覧会……儀式後
- ◆餅まき……正午より
- ◆屋台販売……午後12時30分頃より



順調に進んでおり
ます新本堂工事、す
べてのおかげさまに
感謝を込めて「餅ま
き」を致します。併
せて、フライドポテ
トや焼きそばなどの
屋台も並びます。
数十年に一度のこ
の行事にぜひお誘い
合わせてお越しくだ
さい!

ようこそ函館別院へ
布教使さん紹介

常例布教

◆9月12日(水)～16日(日)



福井教区
河和田組 明正寺
畑中尚治師

今ここでの救い

『拝読 浄土真宗のみ教え』の中のことばで
す。「信心いたたくそのときに、たしかな救いに
あずかる。……まさに今、ここに至りとどいてい
る救い、これが浄土真宗の救いである。」

福井県鯖江市の畑中です。常例布教のご縁
を重ねていただきます。宜しく願います。
この度の布教の内容は、『拝読 浄土真宗のみ
教え』の「浄土真宗の救いのよろこび」「親鸞聖
人のことば」を拝読し、触れた法話です。

宗門では、「親鸞聖人七百五十回大遠忌」を
ご縁として、『拝読 浄土真宗のみ教え』を普
及奨励しています。特に、ご本山の晨朝御堂布
教の前に必ず出言(拝読)します。私は、去る七
月中旬にご本山布教にて、その内容に触れた
法話をしました。

一人でも多くの方に、浄土真宗の教えに触れ
ていただき、そのお味わいを深めていただきた
いと願います。そして、今を生きる私のより
処として、日々の生活を「念仏の、信心の道場」
として受け止めていきたいのです。

再度のご縁を共々にいただき、常例線の各ご
寺院と函館別院でお会い出来ることを楽しみに
しています。どうぞお参りください。

平成24年
宗祖親鸞聖人

報恩講

函館別院報恩講

台町出張所報恩講

10月13日(土) 午前10時より

本院(西別院)報恩講

10月13日(土)

・速夜……午後1時30分より

10月14日(日)～15日(月)

・晨朝……午前6時30分より

・速夜……午後1時30分より

・初夜……午後6時30分より

10月16日(火)

・晨朝……午前6時30分より

・満日中……午前10時より

・慶びの広場……午後12時30分頃より

※朝・昼・晩、婦人会お手製の御齋(お食事)が
ございます。

お誘い合わせの上、どうぞご参拝ください。

ご講師

北海道教区 空知南組 西願寺
西川 秀人師

江差別院報恩講

11月5日(月)～7日(水)

平成24年 秋季彼岸会

◆台町出張所彼岸会

9月20日(木) 午前11時より

◆本院彼岸会(仮本堂にて)

9月20日(木)～22日(土)

- ・晨朝 午前6時30分より
- ・速夜 午後1時30分より

■読経受付時間

納骨堂

20～22日の午後1時頃～午後2時30分頃は、仮本堂での法要に僧侶職員が出ております。この間は、ぜひ法要にご参拝ください。

台町墓地

20・21日…午前10時～午後5時
22日…午前7時～午後5時
23日…午前9時～午後5時
19・24・25日…正午～午後5時

※22日(土)の午前9時より午後1時まで、納骨堂でラムネと団子を販売致します。
(仏花の販売はございません。)



彼岸会講師

山陰教区 千須賀組

浄福寺

小玉 教雄 師

「普通」と「不通」

昨年三月、被災された方々が取材のマイクで言われる言葉が何故か気になりました。その言葉とは、「普通」という言葉で、被災された方々が、「普通の生活を取り戻したいだけです」と涙ながらに訴えて言われたものでした。

もし、大震災の前に「普通」という言葉に関する文章を見ていなければ、その報道を聞いても深く考えることはなかったと思います。

その言葉は、念仏者として著名な中村久子さんのことについて述べられたもので、飛騨高山に在住の三島多聞先生という真宗大谷派のご住職が書かれた文章でした。

その中で、「日常でどんなことにも通ずる身を持ちながら、心一つで通じなくさせている『不通の世界』と、不自由な身であまねく通ずる『普通の世界』との大きな違いを痛感する」とありました。

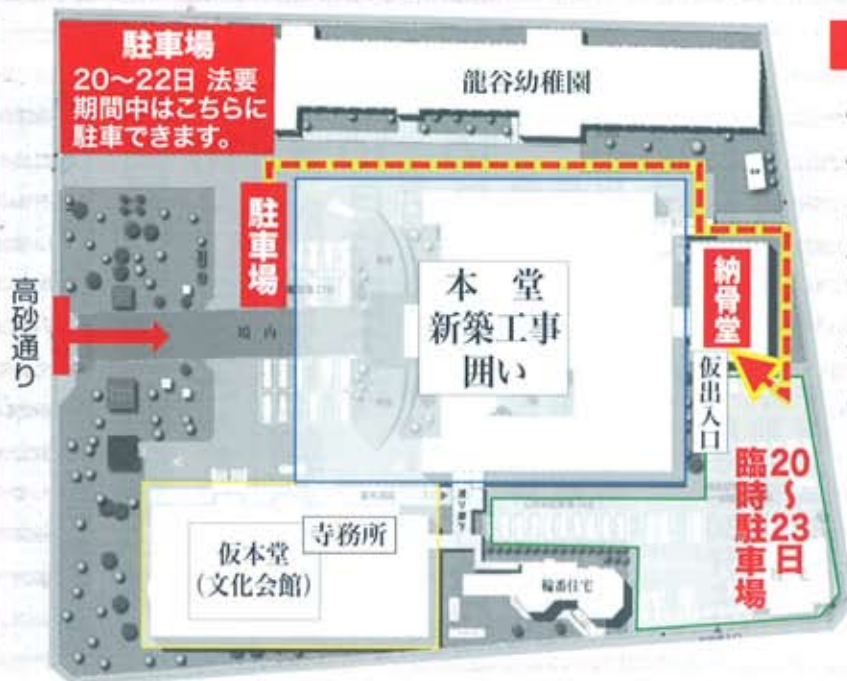
これまででは、「普通」とは当たり前の世界で、価値の低いものであるかのように我流の理解をして、ご本願の世界から遠い世界に留まっていたことを痛感させられたのでした。しかし、この文章に出逢ってから、「普通の世界」があまねく通ずる世界であることを改めて味わうこととなりました。

お知らせ

お彼岸期間中の
納骨堂へのお参りに
ついて



左記の地図をご参照して、お参りください。尚、お盆にございました臨時駐車場は、20日(木)～23日(日)に開放されます。



■お供物について

仏さまからのおさがりとして、お参り後はお持ち帰りくださいますようお願い致します。

台町墓地総追悼法要

平成24年9月23日(日)

- ・受付…午後1時30分より
- ・法要…午後2時より

本年度より台町出張所にて台町墓地へ御納骨されている方を対象とし『台町墓地総追悼法要』を厳修いたします。亡き方が往かれたお浄土に思いを馳せ、今を生きる私たち一人ひとりの「いのち」のあり方を見つめなおす機縁とするともに、お念仏のみ教えに遇い得たことを喜ばせていただく法要です。

どうぞお誘い合わせの上、ご参拝ください。



台町墓地の歴史

明治12年の大火の後に街衢改正の為、台町(現在の船見町)の地を墓地と定められる。西別院の墓地は本堂の裏(現在はグリーンベルト)にあったが明治20年の大火により地区整理の為、明治24年に墓地を台町に移転する。同時に墓地管理棟を建設し別院職員が常駐する。現在の出張所は平成4年に再建される。

新コーナー ぼうずの休日

意外と分からない僧侶職員の休日や勤務後のプライベートな部分を大公開(暴露)します!

山が、風が、道が、 林 知仁

今日も一日を終え、部屋に帰り窓を開ける…。函館山から心地よい夜の風が部屋に入ってくる。さて、今日もいくとするか…。僕は普段着からランニングウェアに着替えをし、玄関を出た。おや、夜遅くだというのに寺務所の電気が煌々としている。まだ誰か残業しているようだ。ご苦労様です…しかし、僕はそれをよそに函館山の方角へ



と駆けだした。山が風が道が、僕を呼んでいるからだ。

コース途中、電停の宝来町駅から青柳町駅までは上り坂が続く。僕の一番好きな場所だ。坂を登り始めるとともに、ペースを上げる。一気に息が苦しくなり、全身に血が巡っていく。これが一番の快感なのだ。全力で走るときは苦しくなる。だがそれは、僕は生きているということを体が教えてくれているような気がする。また、今日一日生きた命に感謝しなければならない。

婦人会お手製の函館うまいものを「大乘」にご紹介!!



本願寺出版社から刊行されている月刊誌「大乘」から、連載コーナー「おふくろの味紀行」に函館名産の味を取材したいとご依頼があり、急遽でしたが婦人会の皆様によっていただきご紹介しました。婦人会お手製のいかめしなどに、取材の方々も喜ばれていました。



全国に別院がある中で、掲載されるのはこの函館が初めてとのこと。9月号が楽しみです。

教化団体だより

仏教婦人会

◆9月12日(水) 正午より

常例仏婦の日

◆9月22日(土) 午前9時より

お彼岸奉仕活動

◆9月26日(水) 午前9時より

研修旅行

◆10月9日(火) 午前9時より

おみがき

◆10月13日(土)から16日(火)まで

報恩講奉仕活動

YBAはこだて(仏教青年会)

◆開催決定後にご案内

覚信尼会

◆9月 日程未定…郊外研修(壮年会と合同)

◆9月 ……彼岸会参拝

◆10月 ……報恩講参拝

仏教に学ぶ会

み教えの部

◆9月28日(金) 午後6時より ※予定

◆10月28日(日) 午後6時より ※予定

お勤めの部

◆9月16日(日) 午後6時より ※予定

◆10月 ……報恩講のため休み

仏教壮年会



北海道教区仏教壮年研修大会に参加して

本願寺函館別院仏教壮年会会長

笠井 昇

今回は釧路の本行寺様にて6月30日より7月1日まで、170名の参加により開催されました。さすが霧の街釧路、気候は過ごしやすかったです。

全体のテーマは「み教えの中に『今』を生きる」。1日目は「避けられない老・病・死を生きる」。講師は鹿児島県善福寺住職の長倉伯博師でした。ビハラー活動委員をされ、病院内でチームを組み終末期患者の心のケアに携わられています。病室へ入る時の心構えとして、最高の笑顔で「あなたは往生人、私も少し遅れて往生人、共に浄土に歩む人」と思っているそうです。2日目は「困難な時代を生き抜く」。二人一人に人生がある。私は患者様の愚痴を聞く「心のゴミ箱」である。また、いろんな意味でもそういう人は必要では。」とお話してくださいました。とても素晴らしいお話を聞かせていただきました。

1日目の懇親会後には川沿いで炉端焼きを堪能でき、充実した2日間を過ごしてきました。

◆9月 日程未定…郊外研修(覚信尼会と合同)

◆9月20日(木)から22日(土)まで…彼岸会参拝・協力

◆10月13日(土)から16日(火)まで…報恩講参拝・協力



✈️ ココロ花咲く、ステキな旅を。

55th ANNIVERSARY

55年の実績と豊富な情報力で旅をクリエイトする

トップツアー株式会社 函館支店

札幌市青葉区南一条15番1号 ☎ JATA正会員・JTB加盟会員

〒040-0063 北海道函館市若松町6番7号
TEL:0138-27-0109 FAX:0138-27-0101

倒れても安心
火を使わない
電子式ロソク

(有)六光堂神仏具店

函館市若松町16番1号 **に**B館隣り
年中無休 ☎23-1840 駐車場完備

お悔やみ申し上げます。

☎013827-2424

- 24時間お好きな時間帯にいつでもおしゃべり
- 8月26日(日) ↓ 9月1日(土) …… 寺井(承)
 - 9月2日(日) ↓ 9月8日(土) …… 林(承)
 - 9月9日(日) ↓ 9月15日(土) …… 田中(輪)
 - 9月16日(日) ↓ 9月22日(土) …… 吉村(副)
 - 9月23日(日) ↓ 9月29日(土) …… 9月常例講師
 - 9月30日(日) ↓ 10月6日(土) …… 彼岸会講師
 - 10月7日(日) ↓ 10月13日(土) …… 高倉(副)
 - 10月14日(日) ↓ 10月20日(土) …… 田(参)
 - 10月21日(日) ↓ 10月27日(土) …… 報恩講師
 - 10月28日(日) ↓ 11月3日(土) …… 西光寺(参)

ちよんちよんちよん

ご門徒さんから頂いた作品を紹介させて頂きます。
ゆかり人集う御堂に手を合し
心交わす仏の恵み

大西日波にさよならして沈む
松川町 川上愛子

彼はと忘れることの多くして
忘却曲線ゆるみ初めしか
湯浜町 土矢成道

お通夜・お葬儀をお寺で

西別院文化会館でお葬儀会場としてご使用できます。
詳細はお寺にお問い合わせください。

会館使用懇志

- ◆西別院御門徒……………5万円
- ◆仏教会加盟寺院… 15万円
- ◆和室(20名程度) …… 3万円



写真はお通夜の様子

大募集

お便り

仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。「お西さん」にて、お答えします。

表紙

趣味の絵や写真で表紙を飾りませんか？
アマチュア・セミプロ・白薦・他薦は問いません。

あて先

函館市東川町12番12号

本願寺函館別院内 お西さん担当室迄

☎(0138)23-0647



編集後記

今年も衣の中が汗まみれな夏でした。冷房が苦手な私、節電が言われる今、どの店も涼し過ぎた時代は不自然だったと感じます。自然がいちばん。でも熱中症や寝苦しさは怖い。それならやはり、便利と不便の真ん中を求めていくしかない、そう改めて思った盛夏でした。

平田

今この編集後記を書いているんですが、とにかく暑いです。子供たちの髪が、しっとりとしています。見るものが全て暑く見えてしまいます。困った目だなと反省するこのごろです。

西村

暮らしの中の拝む心・敬う心を大切に、ご宗旨に添った伝統的なお佛壇から、リビングに似合う家具調まで…。幅広い品揃えで質の高い佛壇・神具をお届けしております。各種提灯を展示しています。ご来店お待ちしております。



(株) 大師堂佛壇店 函館店

函館市若松町4番11号
TEL. 0138-27-2271 FAX. 0138-27-2285

墓石専門店

墓石の新築・修理

法名戒名彫刻

クリーニング

鍛冶石材店

函館市入舟町7-4

☎(0138)23-1611・FAX26-2638



りゅうこくまつり

7月28日(土)に、龍谷幼稚園の講堂にて「りゅうこくまつり」が行なわれました。全園児で「なるこ」を持ち「じょんがらまつり」の遊戯を元気いっぱい踊りました。その後は、わたあめ、かき氷、ハンバーガーを食べて、保護者と一緒に「いかおどり」や「ドラ



幼稚園の盆踊り!!

えもん音頭」を踊り、楽しむ笑顔が見られました。

最後は抽選会。折り紙・粘土・メダルと宝物を大事そうに抱えて降園する子どもたちでした。

楽しい夏のひと時を過ごしました!



お泊まり会

7月20日(金)~21日(土)の1泊2日にて年長組の「お泊まり会」が行なわれました。

スケジュールは満載でまず始めに、夕食のカレーライスやデザートゼリーの作りを、グループに分かれて作りました。「包丁で人参を切る練習をしてきたよ」と教えてくれた子もいました。カレールーを入れた後は、最後のおまじない「おいしくな〜れ!」の魔法をかけて



年長組の一大イベント!



函館公園に遊びに行きました。こどもの国の乗り物に乗車して、噴水広場にてシャボン玉を吹いて楽しみました。幼稚園に帰り、夕食を食べたり、すいか割りをして西別院のお風呂を借りました。そして、みんな揃ってかわいいパジャマ姿になり、次は肝試し…。「おとーさーん」と泣いてしまう女の子もいましたが、みんな暗い幼稚園内を歩きまし

た。いっぱい遊んで、食べて疲れたようで就寝は、とても早かったです。翌日は朝参りに参加させて頂きました。朝食を食べた後、荷物をまとめてお母さん方のお迎えにきた顔を見るとほっとした笑顔が見られました。

幼稚園生活で年長児ならではの行事、お泊まり会。自信がつきとっても大きく成長する姿がみられました。

預かり保育 さんさんくらぶ

お仕事をしているお母さんや、用事でしばらくみて欲しい人のために幼稚園の保育がすんだ後、夜6時30分までお預かり致します。

- 対象→龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- 担当→幼稚園の先生
- 内容→保育終了後 毎日/幼稚園振替日/夏・冬休み(土曜日のみ要予約)
- 保育料→園までご連絡下さい。

親子クラブ ミッフィークラブ

- 対象→未就園児親子
- 実施日→水曜日・金曜日
午前10時から11時半
- 内容→親子登園です。
遊んだり、作ったり、歌ったり、みんなで仲良くお友達になりましょう。
- 問合せ→園までご連絡下さい。電話 23-0274